令和6年度全国学力・学習状況調査 朝来市小学6年生と中学3年生の 生活習慣や学習環境等に関する 質問調査の分析結果



令和6年4月18日(木)実施

調査の概要

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の 観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果 と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関 する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒へ の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的です。

調査の内容

児童生徒に対する生活習慣や学習環境等に関する質問

児童・生徒質問について

定着していると考えられる生活習慣や自己意識

小学校

中

· 学 校

- 基本的生活習慣は、おおむね身についている。(朝食、起床就寝時刻など)
- ・ 人権意識を持ち、互いに助け合い、望ましい人間関係を築こうとする児童が多い。
- 友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決 に主体的に取り組む児童が多い。
- ❸ 基本的生活習慣は、おおむね身についている。(朝食、起床就寝時刻など)
- ⊕ 地域・社会や人の役に立ちたいと思う生徒が多い。
- 友達関係がおおむね良好で、学校を楽しいと思う生徒が多い。

定着を維持するための取組

小学校

規則正しい生活習慣を意識するために通信等で発信したり、栄養教諭や専門家等からも児童への生活・食育・保健指導を行ったりして、家庭との連携を継続する。



道徳教育・人権教育を継続して取り組んだり、同学年だけでなく異学年での交流を図ったりすることで、助け合う温かい雰囲気の集団を作っていく。

中 学 校

- 定期的な教育相談を行い、家庭での様子を把握する。また、毎日の生 活記録を通して、規則正しい生活ができるよう助言を行う。
- 道徳科の授業や生徒会・学級での討議を通して、相手を理解し、お互いを思いやる心の醸成を図る。

課題があると考えられる生活習慣や自己意識

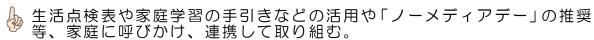
学 校

中 学 校 ゲームや SNS・テレビ視聴の時間に対して、家庭での学習時間が少ない。

- PC・タブレットなどの ICT機器を使って、自己の考えと友達の考えを比 較・共有し、見方・考え方を広げる学習活動が少ない。
- 平日・土日関わらず、ゲームや SNS・動画に触れている時間が2時間以上 の生徒が多く、家庭学習の時間が十分にとれていない。
- 将来の夢や目標を持っている生徒の割合が低い。
- ❷ 課題解決のために、よくわからない点を見直したり、自分で考えて次の学 習につなげる生徒の割合が低い。

課題を改善するための取組

学 校



自分の考えと友達の考えを比較・共有する場面を設定し、 I C T 機器を有 効に活用した授業を行う。

体験活動等を通して、将来を見据えたキャリア教育の充実を図る。ま た、生徒会活動の取組を通して、家庭での生活や学習の仕方について 啓発していく。

生徒自身が SNS の使用マナーやルールを考える時間を作り、保護者 にも家庭でのルール作りを呼び掛けていく。 協働的な学びを取り入れ、問題解決に向けてお互いの考えを出し合い

ながら、人と関わることを学び、お互いを理解していく機会を増やす。

取組紹介

SNS等のネット利用やネットリテラシーに 関する市内中学校

普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上テレビゲームや動画視聴をしている 生徒が全国では約 50%います。(朝来市も同様)。そのような中、携帯電話・スマート フォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束がない生徒が朝来市には、約20 %います。このことが、学習や読書などの時間を取ることができない一因かと考えられ ます。

そこで、これらをふまえ市内中学校では、生徒会を中心にスマートフォンなどとのよ り望ましい付き合い方を目指し、取り組んでいる例があります。

- 〇生徒会等でのスマホルール作り
- ○専門家と連携したサイバー犯罪被害防止教室の実施
- 〇デジタルデトックスDAYの取組
- ○長期休業前の警察の方による講話
- ○懇談会等での保護者への呼びかけや啓発

各ご家庭でも、携帯電話・スマートフォンやコンピュータとのより良い付き合い方等 の使用ルールづくりをお願いしたいと思います。一緒に話し合いながら使用ルールを設 定することで、子どもたちも納得感が得られ、家庭学習や読書などの時間を確保してい くことができると考えます。

中 校